



あだいに

98号

令和2年10月23日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>

〒010-0201 秋田県潟上市天王字上江川47-1616 ☎(018)878-7976 (FAX)(018)878-2517



目次

特集 コロナ疲れの合間に、 ^{われ} 吾、かく思へり	・ クレーマーとモンスター 肥田野文夫 … 13
・ コロナ疲れの合間に～思いは巡る～ 関 啓二 … 2	・ 新型コロナと歯科診療 「歯磨きと口腔ケアが新型コロナウイルス の感染予防になる」 石井秀彦 先生 … 14
・ ベンリナ ヨノナカ 猪股良之 … 3	● 会長レター ^⑩ 新型コロナウィルスとの戦いの合間 佐々木範明 … 15
・ 一人称「複数」 三浦一樹 … 4	● ふんぶんコラム … 16
・ 何も無い夏にはしたくない 佐藤友紀 先生 … 5	● 理事会から … 17
・ オリンピック 笹尾 知 … 6	● ワンポイントアドバイス ^⑳ 松野健一 先生 … 18
・ デジタル時代の新型コロナ 山田のりか 先生 … 8	● 私のおすすめ 松本敏江 / 編集部 … 19
・ コロナ雑感 田村俊子 … 9	● 今日診察室から ^㉑ 長谷川幸弘 … 21
・ 永井荷風『断腸亭日乗』の世界 一戦前・戦後は遠くなりにけりー 中鉢明彦 … 10	● ナイトキャップ … 22
・ 文化大革命から開放へ 浅利正雄 … 11	● 編集後記 … 23
・ 新型コロナと新首相と国安法 佐々木康雄 … 12	● 表紙説明 … 24

特集

コロナ疲れの合間に、 吾、かく思へり

「新型コロナウイルス」という言葉自体がウィルスのように世界を覆い、日常会話に定着して9カ月。人々の言う事なす事、様変わり、第2波の渦中に旅をしる食いに行けと背中を押される一方、小中高生の修学旅行は自粛という矛盾にも慣れてきた。

そこで、金属疲労ならぬコロナ疲労の合間に、コロナについて語り足りない方から、そろそろ別の話題にしたい方まで幅広く随筆を頂いた。国家安全維持法により香港で失われた言論の自由。自己主張が通らないと言論の弾圧だと声高に訴え、それがきちんとマスクコミに取り上げられる日本に住む幸運を噛みしめて。



コロナ疲れの合間に

〜思いは巡る〜

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

関 啓 二

コロナを相手にすると、とにかく疲れれます。パツと憂さ晴らしをすることもままならず、ストレスをため込んでいる方は多

かろうとお察しします。幸い今の私には、朝の連続テレビ小説『エール』を毎回録画し夕食後に妻と一緒に観るささやかな楽

しみがあります。

朝の連ドラは、普段は観ません。今まで観たのはマッサンとあまちゃんだけ。今回観始めた理由は、私の出身校である会津高校の校歌を古関裕而（主人公小山裕一のモデル）が作曲したからで、これは観なければいかんと思ったのでした。今でも校歌の最初のフレーズだけは覚えています。

当初、作品の面白さはあまり期待していなかったのですが、すぐに笑いあり涙ありの小気味よい展開に引き込まれてしまいました。コロナ禍による撮影中断のため再放送に切り替わった間も欠かさず観ては時々妻と二人で泣いてしまいました。その一つが次の場面。

主要登場人物の一人、久志が少年時代を回想するシーンです。久志は小さいうちに両親が離婚し継母が家にいましたが、継母を受け入れることができないでいました。生みの母が忘れ

られず、久志はある日生みの母を探しに出ます。しかし探し当てた生みの母はすでに再婚し赤ちゃんもいました。それを目撃し、深く傷ついた久志は雨に濡れながら小学校の教室へ行きます。そこへ現れた担任の藤堂先生が久志を励ますため一緒に「故郷」を歌うのでした。これで吹っ切れたのか、久志は家へ帰って継母を受け入れ、継母を「お母さん」と呼べるようになります。

あの場面にぴったりの唱歌は「ふるさと」。以外に考えられませんが、ふるさと…なんと心地よい響きでしょう。

私はもう2年も前から毎月故郷の会津へ通っています。老いた母が一人で暮らしているからです。母は1分前のことを忘れるようになり、何十回も同じ話を繰り返し聞かされました。頭が元気な頃は「私の頭に花が咲いたらどこにでも入れてくれ」と言っていました。花が咲き

かけた今、家を離れる気は全くないようです。体が動くうちは梃子でも動かないでしょう。

親孝行をしたという自己満足に浸りつつ秋田の我が家へ帰りつくと、私はやっぱり自分の家はいいなあとしみじみ思うようになりしました。とにかく落ち着いてほっとします。そこで気が付きました。自分がこうなんだから、親はもつと自分の家に居るのがいいに決まっている。

私は以前、地方では皆が1か所にかたまつて住めばよいのではと考えたことがあります。例えば秋田市に住み、郊外（例えば男鹿半島など）で農業や漁業などに従事し、廉価かつ小回りの利く新しい公共交通機関で通勤する。そうすればインフラ整備の費用も安くすみ社会全体が潤う。通勤の時に二日酔いでも大丈夫（一番重要？）。これは、人が住みたいところに住むのは無駄が多いという考えですね。しかし無駄を徹底的になくすこ

とがよいとは限らない。無駄を取り払うと、息が詰まるような社会になってしまふとか…。

私の母も含め望む人にはすべて「ふるさと」に住んでいただきたい。だが、老化などのためそこでの生活が成り立たなくなれば、次の棲み処を探すしかありません。願わくは終の棲家も「ふるさと」と呼べるような素敵などところであつてほしい。微力ではあるけれど、私はそうなるよう役に立ちたいと思うこの頃です。



由利高原のコスモス



ベンリナ ヨノナカ

杉山病院（潟上市）

猪股良之

「ウイズコロナ」。事態の重さに比べて語感是不釣り合いに軽やかで、どうも違和感を覚える。コロナ禍によって生活様式は一変した。どこへ行くにもマスクは必着。コンビニに入るにも「入店されるお客様にはマスク着用をお願いしております」の張り紙。たまにマスクを着け忘れると周囲の目が気になる。そしてマスクを着けていない人がいると自分がその周囲の目になる。マスクを着けずに街を歩くは裸で街を歩くがごとくの時代である、とは言いすぎだろうか。

そして自粛。自粛当初は、いつまでこれが続くのかと先の見えぬ窮屈さを感じたが、元々

ンドアの人間であり、下戸であるから飲みにも行かない、外食もしない、根っからの飛行機恐怖症であるため県外へは行くこともない、そのような自分にとって、自粛と言っても結局は普段の生活であった。

そして同様、息子の通う小学校も長期の休校が続いた。しかし自粛ムードはお構いなし、今はインターネットを介して友人と遊べるのである。いわゆるオンラインゲームだ。しかも「ボイスチャット」といって、オンライン上で会話もできる。なんと便利な時代であろうか。そのゲームは小学生から大人まで巷で流行っているようだ。王道のゲーム世代を歩んだ自分が言う

のもなんだが、やはり子どもにはゲームはやらせたくないというのが親としての身勝手な心情である。しかしながら、「友だちと遊ぶ」と大義をかざされては、この状況、ダメともいえない。結局許可したわけだが、傍から見れば、テレビ画面に向かって一人で会話しているように見えるのだから、光景はどうにもこうにもユニークである。

そして世間に目を向けると、リモート飲み会なるものも行われているという。アプリを利用し、人を集い、各人自宅に居ながらにして飲み会を開くのである。下戸にはあまり縁のないものではあるが、現代の科学技術というのは物理的な距離をいとも易々と超えて人と人を結びつけるのだと、驚いていたところ、某小学校の運動会も同様、アプリを使った「リモート」運動会として開催されたらしい。物理的な距離によって制限された日常の相当の部分は、このデ

ジタル化された距離によって克服されるかもしれない、まさに「便利な世の中」である。

しかし、当然何か物足りない。何が物足りないかといえば、それは「臨場感」である。画面を通して見える相手の姿も、声も、確かにそれは相手の姿らしく見え、相手の声らしく聞こえるのであるが、結局は機械が発信する信号に過ぎない。



一人称「複数」

藤原記念病院（潟上市）
三浦一樹

平積みみの村上春樹作『一人称単数』を手にとってみた。英文学言語学者外山滋比古の著作『第四人称』や『伝達の整理学』では様々な領域の創作を第四人称、第五人称でとらえる事が論じられ興味深いが、『一人称単

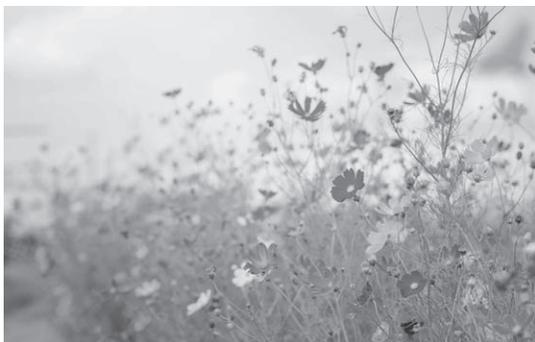
生の声、生の姿ではない。そのためその場の「空気」を肌で感じることもできない。ゆえに屈である。AI相手に酒を飲んでもあまり変わらないのではないかとさえ思う。

これらが「苦肉の策」なのか、「便利で効率的なツール」なのか、と私は思うのである。子どもと一緒にオンラインゲームをしながら。

数』は短編小説集であった。村上春樹は、本の題名を思いついてからストーリーを組み立てる書き方をする、とある対談で述べていた。つかみのある題名として「一人称単数」としたのか。あるいは若い時期に刺激を受け

ただろウアップダイクの同名作品へのオマージュか。文中に比喩が多すぎる村上文学をあまり好まないが、ちよつと真似をして「一人称『複数』」というお題を課して考えてみた。

日常では「かゆい」とか「つかれた」、「わかった」など無人称で言葉を発することが多い。一人称主語もそれなしで小説も論文も可能だ。小文もここまでそれが無い。しかし一人称単数代名詞表現は実に沢山ある。方



草生津川のコスモス

言まで入れると「私、我、僕、吾、自、己、俺、自分、拙者、麿、身共、小生、我輩、小官、朕、てまえ、わー、あちき、ちちとら、おいら、わらわ、おいどん、わい、わて」などなど一人称語は「複数」だ。英語なら「I」か、時に「me」くらいではないか。私たちは、この「一人称語」それぞれに、どんな立場の人なのか、生業や性格までも想像できる。この語は、発したその人が自分の立ち位置を自分自身や周囲に示そうとする表現なのだ。私自身は「私」「自分」「おれ」を使い分けている。「僕」はない。例えば「おれ」と口にすれば、平野啓一郎の小説『ダウン』の「分人主義」のように、自分という個人(individual)の中のいくつかある自分(分人

れの一人称語の合間(あわい)にいるのだ。日本語は面白い。ところで、この一人称漢字に「こころ」が付くものが三つある。それは「吾」「自」「己」だ。つまり「悟」「息」「忌」。「ハレ」としての「悟り」と日常の「ケ」としての「忌」との「あわい」に「衆生」は生きて「息」をしている、と受け止めてみる。われら凡人は、何かを極めようと清めようと、息を整え瞑想する。「息」という字はなぜか座禅する姿に形象が似ている気がする。呼吸を静め邪念を鎮めていくと、「息」の字の中の「自(おのれ)」は自^{おの}ずから徐々にあわく縮退し、「心」だけが残り深い瞑想域に入る。これも「あわい」の世界だ。

蛇足だが「我思う。故に我在り cogito ergo sum」には「われ、われ」と言いながら一人称代名詞としての「我(ego)」がない。もちろん cogito の人称変化で一人称とわかるわけだが、

このゼロ人称的なラテン語文に合理性近代哲学の始動よりも何やら東洋哲学を憶う。曰く「滅我思即遍在」。遊びすぎか？「コロナ疲れの合間に、吾、かく思えり」として記載した。



何も無い夏にはしたくない

「八郎潟どうしても今年花火上げ隊」隊長
えきまえ佐藤薬局(八郎潟町)

佐藤 友紀 先生

本来であれば、八郎潟町は「プロジェクト8」主催の「一夜市」や秋田三大盆踊りの一つ「一日市盆踊り」で暑い夏になる予定だった。しかし、新型コロナウイルスの影響で八郎潟町だけでなく全国でイベントや大会などが中止となった。確かに、感染を拡げるようなことはしたくない。だけど、本当に何も無いこんな夏で終わっていいのか？ 今年の夏の思い出がコロナって寂しすぎないか？ そんな声が聞こえてくる。花火なら、花火だけなら密にならないように観てもらえれば！ この瞬間、プロジェクト8が母体の「八郎潟どうしても今年花火上げ隊」が結成された。こんな時、すぐにやりましようと言ってくれる仲間がいることがどれだけ有難いことか。

さて、お金はどうしよう。例年の一夜市では各企業の皆様に協賛して頂いていたが、コロナの影響で協賛という形はとりにくい。寄付は個人がメインの、みんなで打ち上げる花火にしよう。個人1千円、企業・団体3千円、特別協賛2万円。



花火上げ隊

子供達からも寄付したいという声が続いてきたので、小学生以下百円を追加。目標は、例年の一夜市の花火と同じくらいの30万に設定し、目標を大幅に上回るようなら10号玉を打ち上げる。花火はいつもプロジェクト8でお世話になっている小松煙火工業様に依頼。寄付による打ち上げのため、当日ぎりぎりまで金額は分からないと話した

ら快く承諾して下さいました。

後日、小松煙火工業様に八郎潟町の「8」と「ニャンパチ」を花火で表現して欲しいとお願ひしこちらも快諾。10号玉挑戦のハードルも確認。半径240m封鎖、交通整理の人員配置、田んぼに花火の殻が落ちるので耕作者の方々への説明・確認と手間暇多く心が折れそうになったが、心強い仲間たちが必死に動いてくれたお陰でクリア。寄付金は町内外から集まり、目標額を大幅に上回る115万円となった。10号玉を打ち上げられる！感謝の言葉しかない。

打ち上げ当日、正直なところ会場まで観に来る人はそんなにいないだろうと思っていた。しかし想像以上に人が集まってしまった。一定の距離を取ってご鑑賞下さいとスタッフみんなが注意喚起。8月15日午後8時6分。花火の始まりだ。

BGMもアナウンスも無い中、花火は上がる。夜空に大輪

の花が咲くと同時に歓声も沸き上がる。花火師の方々の動きが分かる距離で鑑賞。この臨場感はなかなか味わうことができないと思う。7号、10号と次々に大きな花火が上がり観客の歓声も大きくなっていった。打ち上げが終わると大きな拍手が起こり、観客と花火師が互いに感謝の意味を込めてライトや携帯の

灯りを振り合った。

花火上げ隊は、今回の花火のきっかけを作ったに過ぎない。あくまで寄付して下さったみなさんが上げた花火である。コロナ禍の中、みんなが一つになれた瞬間ではないだろうか。何も無いこんな夏…と思っていたのが、生涯忘れられない夏に変わった。



オリンピックク

菅尾医院 (五城目町)

菅尾

知

今年の夏、東京でオリンピック

クが開催されるはずだったが、コロナのパンデミックで来年に延期となってしまった。全く想定外の事で来年の開催すら危ぶまれている。もし東京に再度大流行が起きれば来年また中止となり、再延期はできないとなる

だろう。

現在、いろいろなイベントの参加者を段々と制限緩和して様子を見ている。国外での感染が収まらなくても日本での患者数が極端に増加しない限り、東京オリンピックは開催されると思われる。そうでないとIOCの

経済が持たない。赤字国債で造り上げた巨大な幾つもの施設も維持費の負担に耐えられず廃墟となってしまうかもしれない。

私が30歳になったばかりの頃、オリンピックが東京で開催された。池田総理により所得倍増政策が提案され、それまでの緊縮財政とは反対の拡張財政が始まった。公共事業が盛んに行なわれ、高速道路ができ新幹線が走り出し新しい地下鉄も造られた。冬の間、仕事のなかった東北の農民は出稼ぎと称して東京に働きに出かけ、中にはそのまま居ついでしまう人もいた。現在の地方の少子高齢化の下地ができたのである。

私の通った大病院の近くに神宮競技場があった。最近朝ドラにも出て来た学徒出陣の大学生が角帽をかぶり、三八式歩兵銃を担いで行進するあの場面の競技場である。そこで私も走ったことがある。その競技場もオリンピックのため改築され学徒

出陣の記憶も薄れてしまった。そして今また新しい競技場が完成している。大都会のまん中にあんなものを造らなければならなかったのか疑問が残る。激しい交通渋滞が起き選手が競技に遅刻してしまわなければならないと思う。

前回の東京オリンピックの時、私は福島県の須賀川市の病院に勤めていた。明治時代に建てられた木造の古い病院だった。事務室にだけあったテレビをよく見ていた。

男子マラソンに出場した円谷選手は須賀川市出身だったが、惜しくもゴール前でイギリスの選手に抜かれて銅メダルになつてしまった。しかし日本人で、陸上競技でメダリストになったのは円谷選手だけだったと思う。凱旋報告に須賀川に来て、ユニホーム姿で病院の前を走つて行った。ニコリともせず、なんだか表情が硬かった。変な印象を受けた。その後、円谷選手は

自殺してしまった。今から考えると、おそらくバッシングを受けていたものと思われる。

日本人で最初に金メダルを獲得したのは織田幹雄さんである。1928年のアムステルダムオリンピックで陸上競技の三段跳で優勝した。私はご本人にお目にかかった事がある。関東医歯獣陸上競技大会というごくレベルの低い大会の運営をやられ、その当日、日吉の慶応のグラウンドであちこちと動き回っていたら、本部に織田さんが居られるではないか。小柄で痩身で、この人がオリンピックの金メダリストとは信じられない感じがだった。

アジアで初めて開かれる東京オリンピックの陸上競技に誰か有望な選手はいないかと、あ



八郎潟町に上がった花火
(2020. 8.15)

ちこちの競技会に顔を出されて居られたのだと思う。医学部の私の1年先輩の人で、走幅跳でユニバーシアード大会に出場された方がいた。その日、一人であんまりいろいろな種目に出されて、いい記録は出さず眼鏡にかなわなかったらしい。その数年後、東京オリンピックが開催されたが、まだあまり商業主義には毒されておらずいい大会だったと思う。

コロナのパンデミックの中で開かれる大会がどんな大会になるのか、気がかりな事である。



デジタル時代の新型コロナウイルス

まこと調剤薬局（潟上市）
山田 のりか 先生

9月に入り朝夕に涼しさを感じられる様になってきました。新型コロナウイルスの新規感染者は全国的に減少傾向にあり、第2波はピークをこえているのかもしれませんが、GOTOトラベルが始まっているので油断することなく感染症対策を継続していく必要があります。

私の生活様式も通販、電子書籍、出前、ズーム、ライブ配信の視聴、サブスク使用、電子決済と流行にのったかのようにすっかり変わってしまいました。インターネットの利用と簡単に言いますが、いざ始めようとすると、アプリケーションをダウンロードして個人情報登録しなければなりませんし、パス

ワードも設定しなければいけません。パスワードはその都度変えていては忘れてしまうので同じにしようと思うのですが何だか不安になり、結局少しずつ変えていった結果忘れてしまいログインできなくなる、また新しいパスワードを作らないといけないからと新規作成を試みるも今度はログインIDとやらを忘れてしまい新規作成すらできなくなる。これの堂々巡りでストレスがたまる一方です。

菅内閣が発足しデジタル庁が新設されることになりました。みなさんはマイナンバーカードの登録は済みましたか。お薬手帳もこのカードで管理するようになるのか。我々医療従事者も

DX化（デジタルトランスフォーメーション・デジタル技術の進化で生活をより豊かにする）に向けて柔軟に対応していかなければならないと同時に、個人情報の取り扱いにも慣れていかなければなりません。

今や国勢調査もインターネットの時代。先日みえた国勢調査員さんは、可能であればネットで回答していただくと大変助かりますとおっしゃっていました。このネット社会、電子化に対して高齢者の方はどう対応しているのでしょうか。私の母も大変苦労しているようで、ほぼ毎日の電話相談に加え、携帯ショップにも毎週行っているようです。ソーシャルディスタンスとは言っても高齢者は操作方法を聞くためにディスプレイが保てないのです。これではマイナンバーをもらうどころかマイナンバーカードの申請も一苦労です。アメリカなど諸外国ではすでに印鑑を使わなくて良い

システムに移行しているようで、今後、日本の印鑑文化はなくなつて、さらに電子化が進んでいくのでしょうか。

現在、各国が競って新型コロナウイルスワクチンを作っています。でも提供されるのはいつになるかわかりません。治療薬の方は、国産初のアビガン（ファビピラビル）が正式に承認されれば多くの病院、患者さまに使用できる可能性があります。感染初期

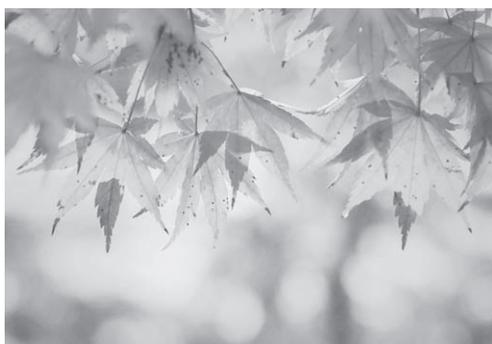


栗駒の南天

美しさや美味しい食べ物を楽しむことができませんでした。ちょっと得した気分です。

また、毎日の通勤途中に新緑の山々や風車の並ぶ海岸、黄金色の田園風景を当たり前のように目にしているのは、精神衛生上プラスになっているのかもしれない。

これから冬に向かってどう状況が変わっていくのかまったく予測が付きませんが、はたして来年の誕生日はどんなことになっているのでしょうか。



角館武家屋敷のもみじ



永井荷風

『断腸亭日乗』の世界

―戦前・戦後は

遠くなりにけり―

湖東厚生病院（八郎潟町）

中 鉢 明 彦

戦後75年の節目を迎えた今年、COVID-19感染拡大を受けて原爆の日の平和祈念式典は例年よりも規模を縮小して開催されました。そして終戦の日の戦没者追悼式も参列者を絞り込んだ形でいつもよりも静やかに執り行われました。終戦の日に報道される太平洋戦争の特番も今年には心なしか少ない感がありました。戦争体験の語り部たちは、あと10年もすれば日本から居なくなってしまう。そうした中、後世に受け継ぐべき戦争の記憶をCOVID-19が一気に風化させてしまうのではないかと

いう懸念を禁じ得ません。しか

しそれは、日本社会の中で徐々に拡散している戦争体験に対する国民の無関心がCOVID-19によって単に炙り出されただけなのかも知れません。

永井荷風は、その著書『断腸亭日乗』の中で、昭和初期から太平洋戦争開戦、そして終戦後までの時代の流れを冷徹な目で描き続けました。日記という主観的な表現様式の中でこそ伝えられる時代の生の姿が行間にちりばめられています。麻布にある自宅「偏奇館」から夜な夜な銀座、玉ノ井、浅草に出掛けては女性との会話や食事を楽しむ日常を淡々と語る一方で2・26

事件以降に急速に進んでいく陸軍によるテロリズム、そして言論・報道の弾圧に対して舌鋒鋭く批判的に記しています。陸軍トップとなったTが一橋尋常中学校時代、荷風と犬猿の仲であったことが週刊誌に掲載されたのを見て「可恐、可恐」とおど化る姿は荷風の面目躍如です。物資不足、生活困窮が日増しに悪化する中でも自身、そして東京の街の姿を生々しく『断腸亭日乗』に書き繋ぎながら、更に出版されるあてのない小説を綴り続けました。東京大空襲が始まってからは小説執筆も儘ならない状況となりましたが、「偏奇館」も昭和20年3月9日、空襲で炎上してしまいました。その後、荷風は空爆を免れた従弟や知人宅へ身を寄せていましたが、6月になり知人と伴に岡山へ避難しました。岡山県の勝山に疎開していた、後輩であり友人でもある谷崎潤一郎と8月13日に再会を果たすも、長

居することなく8月15日昼過ぎに岡山に戻り焼け跡の街を歩いて宿舎に着きました。そこで、同居の友人から終戦の知らせを聞いた荷風、その日の日乗には敗戦を見通していた荷風の思いが込められた、「あたかも好し」の一言がありました。

戦後、間もなく帰京したものの、従弟や知人宅での窮屈な間借り生活に辟易していた荷風ですが昭和27年、73歳で文化勲章を受章する名誉に浴しました。昭和25年以降、『断腸亭日乗』はほとんどが時候と来客を記すだけの1日1行と

なっていました。文化勲章受章当日は久方ぶりに筆も走ったようで授賞式、その後の会食の様子を語る文章には控え目な高揚感と喜びが感じられます。一方で、その頃の荷風の私生活といえは私邸へ訪れる人も限られるようになっており、連日

の浅草通いと映画鑑賞を唯一の楽しみとする孤独な晩年であったと伝えられています。そんな傍目には、うら寂しくみえる晩年の生活も荷風自身にとっては自らの孤高の美学を最後まで貫きとおした凜とした生き方とも言えました。昭和34年4月、最期は、自宅で誰にも看取られることなく吐血による壮絶な覚悟の孤独死で80歳の生涯を閉じました。そして最後の日乗は亡くなる前日に記されていた時候の一言、「祭日。陰。」でした。



秋田県動物愛護センター主催の写真展で賞金をゲットしたジョン君

長く曲折に満ちた昭和の時代、永井荷風は、その前半分の世相を時に諧謔を込めて、時に熱弁をふるいながら日記という形で書き残しました。『断腸亭日乗』の中に描かれている戦前、戦後という時代、その中を生き抜いてきた昭和一桁生まれの先

達は、人類とCOVID-19との先の見えない長期戦の中、その人生の終焉を迎えようとしています。遙か遠くなった昭和の記憶は良きも悪しきも、COVID-19という薄霧に覆われた背景の彼方に静かにfade outしていく運命にあるのでしょうか。



文化大革命から開放へ

杉山病院（潟上市）

浅利 正雄

医者になって58年、自由業だそうだが自由診療はほとんどなく、時間はもつと制約されている。1週間という長い休みは取れるとしても5月のゴールデンウィークぐらいでしょう。

ばならない老年うつ病のようである。

新型コロナウイルスの感染拡大ではその機会さえなくなり、「3密」で外出もままならない。医療崩壊の危険も心配しなければ

若くて元気だった勤務医の頃、「日中友好青年の旅」（日青協主催）に参加したことがあった。コースは、天津、上海、北京、万里の長城であったが、地震があつて天津港が使えなくなり、台風のため神戸港で待機、停泊中に、毛沢東主席の死亡という

大事が起こったのである。

船は大連に到着。旅は旧満州地方だけ。偉大なる領袖・毛沢東主席の国葬で活動が制限された。当時の中国は文化大革命がまだ続いており、スターリンの大きな銅像があり、フルシチョフ書記長は修正主義と批判されていた。

赤いネツカチーフの紅小兵

(小学生)が堂々と演説し、「走

資派」と鄧小平批判をくり返し強調していた。予定はかなり遅れたが無事帰国した。

その後、中国は江青、王洪文ら四人組が失脚し、鄧小平が政治の実権をにぎったよう、開放改革路線に方向が大きく転換した。今やアメリカにつぐ経済大国になってしまった。

個人の方の開放は天安門事件

などをみると保障されているとは思えない。国の方向を決める憲法の上に中国共産党があるのだという「1党独裁」であれば、香港の将来も、無力な個人の権利の制約が進むと想像される。何とかそうならないように祈るしかない。

ン・ルターである。

ペストで無数の死者が出ているのに教会はなす術もなく免罪符も無効、人々は教皇庁に不信感と怒りを募らせついに宗教改革が起こる。詐欺と疫病が法王の化けの皮をはがし、カトリック教会に抗してルターのプロテスタントが広まった。

焦ったカトリック側は東アジアへの布教で巻き返しを図る。



新型コロナと新首相と国安法

ハートインクリニク(潟上市)

佐々木 康雄

瓢箪から駒、棚ボタ、青天の

霹靂、火中の栗拾い…ともあれ

令和2年9月16日、菅義偉内閣総理大臣が誕生した。コロナ、経済、五輪、近隣諸国問題など厄介なこの時期、秋田県出身初の首相だ。これも令和おじさん

を選出してくれた神奈川2区住

民と、8年近く励んだ安倍晋三首相を疲弊させたコロナ禍の陰である。禍福はあざなえる縄の如し。菅氏はコロナ福か。

とりわけ面倒なのが中国。コロナを外交に悪用し尖閣諸島や

南シナ海に出しゃばりウイグル族をいじめ、どさくさに香港国家安全維持法(国安法)を新設し台湾を脅し欧州諸国に恫喝外交を展開して、恥じない。

話は変わる。14世紀ドイツでペストと同時に流行した免罪符は、何か後ろめたいこと罪深いことをしたと思つた時、教会の壺にチャリンとお金を入れてこれを買えば罪は消えあなたは赦されるとしてよく売れた。だが、免罪符は法王が仕組んだ金集め詐欺だと怒つたのがマルチ

アへの布教で巻き返しを図る。日本にスペインの宣教師ザビエルが現れたのは16世紀半ば。彼ら伴天連が持ち込む品や海外の情報や信長や家康は喜んだ。だがやがて、イエス以外は認めない信仰集団を秀吉や3代將軍家光は警戒し、禁教、弾圧。ところが信徒らは「これで天国へいける。聖人になれる」と殉教死を厭わず、カトリック国スペイン、ポルトガルから宣教師が続々押し寄せ、遂に鎖国。コロナ感染拡大防止と同じである。その隙を突いて幕府に取り入つたのがプロテスタント国オ

ランダ。彼らは布教をせず商売に徹し、長崎にオランダ出島を許され交易は進み西洋医学など南蛮文化も入ってくる。佐竹藩に秋田蘭画も興った。

話は戻る。中国にとって出島であつた香港の自由と民主主義を独裁政権は許せない。更にアフリカなど

経済弱小国の支配を企むその実体はコロナの感染拡大と同じだ。しかもコロナ対策は独裁に限ると言い張る。一方の米国は信仰と思想の自由を旗印に建国した歴史を持ち、独裁政権とは全く相容れない。

国安法は、中国・香港だけでなく地球のどこでも共産党政権を非難した者は逮捕され得るふしぎな法律である。8月に逮捕



9月8日のお薬師さま
(コロナで角館のお祭りは中止となり閑散としていた)

された香港民主化運動の周庭さん23才の場合、ネットで日本人に要請した支援も国安法違反の国家分裂煽動罪に当たるといふ。わが郷土の総理閣下は独裁者から就任の祝電を賜った。周さんらを直接支援できない者は自由と民主を守るため独裁一味を非難し続けるしかない。こんなことを書いて中国に行つたらどうなる？



クレーマーとモンスター

杉山病院(潟上市)
肥田野 文夫

精神科はおかしな人だらけ、というのが当たり前だそうですが、「自分は病気でない！」と騒ぎたければ勝手ですし、「困っていないならお帰り下さい」で済むので、「変な人ばかりと毎日話しておかしくなりませんか？」というご心配はありませんか？

ありがとうございます。普通だと思っている人よりはるかにまともです。

いつ頃からのか学校、施設、薬局、携帯ショップ、ホームセンター、スーパー、コンビニなど日本中至る所で自己中が増え、「言葉づかいが悪い」「対応が不適切」「…が気にいらぬい」で学校などは真夜中に親からの電話が来る、苦情メールが

大量に送りつけられる、で「誠に謝罪しろ」の大合唱です。外来でも確かに「権利」を声高に叫ぶ人が増えて「あんた、バカでないの」と診察室で穏やかに伝える機会は増えましたが、患者さんは本人が困っているのでも私は全く気になりません。

80年前の大東亜戦争時の帝国臣民のスローガンは「欲しがりません、勝つまでは！」で遠い昔ですが、幾多の悲惨な戦闘を経験し、絶望の敗戦から朝鮮戦争特需など恩恵(?)もあり、日本の奇跡といわれる程の成長を遂げました。その後はアメリカに押しつけられた戦後民主主義のお陰で自由、繁栄の価値観が浸透して、個人主義が根づい

ていきました。高度成長、オリンピックなどをはさんで、高速道路、新幹線などの交通網の整備も進み、努力すれば明るい未来が待っていると信じて疑わない雰囲気が出ていました。

しかし、豊かになればそれだけでいい訳ではなく、我々の一つ上の世代は「子どもにあのような苦労をさせたくない」となり、過酷な受験、就職競争（いい学校からいい会社に入って出世：末は博士か大臣かの懐かしい世界です）を反省しました。団塊の世代という人の多さで競争が厳しかったことも事実で、「心の時代」は個人の尊重、自主性の尊重、命は何よりも大切で、しかも充実した人生を送らなければいけない、そのためには誰でも必ずある筈の良いところ、才能を探して伸ばすという妄想が広がりました。しかしほとんどの子どもは不細工でからっぽやみなので、親あるいは先生が「やればできる」（これも妄想）

といってもそうはなりません。

結局、「かけがえのない自分なのだから何をしてもいい」となり「未来は君らの手の中に！」は根拠がないのは当然で、努力も向上心も関係ない世代が育ち、ゆとり教育がさらにその手助けをしました。結果、「自分の思い通りにならなければ気が済まない」という幼稚で感情を抑えられない人ばかりになりました。クレーマーやモンスターは精神科的には性格異常ですが、人格は半分が環境要因で「自分らしく生きる」の表現型Ⅱ 一生適応障害として生きる、それも人生です。最近では医者も不適応が増え、患者の顔を見ない、と責められています。モニター患者様の顔を見たくない気持ちもわかり、一方、私の友人のように「いやあ、先生、『わがままな女』はすごくいいですよね」と目を細める先生もいてやっぱり人それぞれなのです。



新型コロナと歯科診療

「歯磨きと口腔ケアが新型コロナウイルスの感染予防になる」

石井歯科クリニック（潟上市）

石井 秀彦 先生

コロナの影響で大変な思いをされている方が多いと思います。

ことで、来年はぜひ現地集合したいものです。

私事ですが昨年まで参加していた学会、講演会、会議、また趣味のマラソン大会などは中止、延期またはWEB開催となりました。9月の連休に毎年参加している日本口腔インプラント学会は、WEB開催で出かける必要がなくなりこの原稿を書く時間が出来ました。昨晩はパソコンに向かい学会に参加しましたが、講演後の友人との情報交換ができないので物足りなさを感じます。何よりも学会の夜に友人たちと各地の郷土料理とお酒を楽しめないのはとても残念な

また、昨年までなかなか実現できなかったことですが、今年は週末に時間があるため北東北3県の温泉旅行に出かけています。近くでも訪れたことがない素晴らしいところがあることを改めて発見しています。現状では感染リスクを考え遠出はしにくいのですが、ストレス発散のためにも近場に出かけたいと思っています。

次に歯科医師の立場から、コロナが収束しない中での歯科医療現場の状況をお伝えします。先日医療・介護・福祉関係者



晩秋の水心苑（県立小泉湯公園）

の会議に出席しましたが、出席者から「歯科診療の現場では大変でしょう」と声を掛けられました。これは当初メディア等で「歯科診療は感染リスクが高い」と報道され誤解が広がったせいだと思います。歯科医療機関では「マスク」「ゴーグル」「手袋」の着用といった標準予防策に加え、他の事業所と同様3密を避ける工夫や触れた物の殺菌、消毒、従業員の体調管理の徹底など感染拡大を起こさないよう今まで以上に細心の注意を払いな

がら診療が行われています。その結果、国内の歯科医療機関で今日まで大きなクラスター発生や歯科治療を介しての感染拡大は報告されていません。

菅首相に代わっても政府の最重要課題は「コロナ感染症にどう立ち向かうか」であることは変わらない筈です。国は「新型コロナウイルス感染症への対策が求められる中であっても、国民の健康保持・増進のため、歯科疾患の予防や重症化予防の取り組みが重要」と通知しています。その理由として歯磨きをすることでインフルエンザ罹患率が10分の1に下がった、施設において口腔ケアをすることで誤嚥性肺炎を半減させることが出来たなどのエビデンスがあるからです。

これまでの研究成果を鑑みると、現時点ではエビデンスはななく、あくまでも私見ではありますが「歯磨きと口腔ケアが新型コロナウイルスの感染予防にな

る」と考えます。歯科医師としてコロナ禍にある今だからこそ口腔健康管理の重要性を発信していきたいと思います。

余談ですが、人に会う時はマ

スクをしているからという理由で矯正治療や前歯の被せ物の治療を今やろうと希望される患者様もいらつしゃいます。すばらしい(?) 逆転の発想ですね。



会長レター

16

新型コロナウイルスとの戦いの合間

佐々木医院（湯上市）

佐々木 範明

当医師会管内にもとうとう新型コロナウイルスの感染者が発生しました。当たり前前の事かも知れませんが、やはり「とうとう来てしまった」という印象が否めません。そして間もなく、例年通りならインフルエンザもやってきます。「ツイндеミック」と言う言葉をお聞きになった方もいるでしょう。コロナとインフル

エンザの同時流行を指しています。医療機関はこの秋冬、風邪症状で受診された方をどう診察していくのか、難しい対応を迫られています。いずれ公式発表があります、皆さん、風邪症状（発熱やのどの痛み、咳、鼻水など）がでて受診しようと思ったら、まずは病院・医院に電話をして下さい。いつもの入

り口からは入らないで下さいとか、〇〇時に来て下さいとか、いろいろ指示があると思いません。できれば自家用車で受診し、携帯電話を必ず持って行ってください。もちろん、マスクは必ず着用してきて下さいね。

当地区で発生したコロナはその後クラスターになる事もなく、今は沈静しているようですが、そこにいるような感じ……。この「ウイズコロナ」の感覚に慣れていかなくてはならないのでしようが、これってストレスですよ。こんな時こそ何か夢中になって日常を忘れさせてくれるものが欲しい……。

そこでスポーツ！ 今、自分が実践できるのはゴルフくらいですが、コースに出てラウンドするのは2ヶ月に1回くらいがやと。でもスポーツ観戦は誰でもいつでもできますよね。ここ最近ですごく感動しウルウルしたスポーツニュースを2つ。ひとつは7月場所の照ノ富士関

の優勝。大関から序二段まで陥落しながら、膝の怪我と糖尿病を克服し5年ぶりに幕の内優勝というの、長い大相撲の歴史の中でも史上最大の復活といつていいでしょう。表彰式で口元をキッと締め涙を堪えた彼の表情も、「二度自分がやると決めたらつらいと思っではいけない。試練を乗り越えたい」というコメントも胸にグッときました。

もうひとつは8月末に行われた水泳の池江璃花子選手の50m自由形レース。説明無用と思えますが、白血病との戦いからカムバックした選手です。全盛期の体軀からはかけ離れたほど細くなった彼女。でもレースに戻ってきて、10月に行われる日本学生選手権出場に必要な標準記録をクリアする結果を出した。

レース後、チームIke eメンバーと涙ながらに喜びを分かち合う姿にTVを見ながらもらい泣き



ケンシン君ご近影

してしまいました。スポーツはやっぱいいですね。やつても観てもいい……。アスリートたちの活躍をみて、医師会長もツイendemick対策に微力ながら貢献したいと思いました。皆さま、よろしくご協力下さい。

さて、我が家の白柴犬「ケンシン」ですが、元気一杯、やんちゃ一杯。去勢手術を受けて傷保護のための首輪（エリザベスカラー）を付けても悪戯さんま。今夏の暑さも何のその。走り回って大きく口を開けて舌を目一杯出してクーリングです。

元木山の上まで階段を一緒に登ると、飼い主はヘトヘトです。

ふんふんコラム

クマと共に

7月下旬、太平山に登った。下山し車で温泉へ向かう仁別の道路に可愛い目をした小熊が立っていた。もの珍しさに我々を見ている。近くに母熊がいると思うとさすがに怖かった。

今年も熊出没の報道は多い。ところが五城目の奥や豊川では熊を見かけても住民は通報しないという。我々もしなかった。ポリスは搜索もせず空砲の一発も放たず長時間の事情聴取だけで立ち去る。時間の無駄だ。

熊を初めて食ったのは阿仁の病院に赴任した35年前。大根と煮込んだ味噌鍋で、少し生臭い。そつ話すと鳥獣保護課勤務でマタギでもある役場職員が医師官舎で小熊のペアシチューを作ってくれた。こりゃ旨い！

そんな阿仁のリンゴ畑で昨人がが襲われた。住民は電気柵などで対応しているが、マタギの里はウイズコロナ、ウイズベアである。

(ふんふんが)

理事会から

(天王温泉くらはら・8月25日)

千葉宏俊先生（7月31日逝去77才）、高橋實先生（8月21日逝去88才）に黙祷を捧げて開会。千葉先生は数か月前に井川診療所に赴任されたばかりだった。令和元年に病院を閉鎖された高橋先生は晩年までちよつと辛口の学者肌先生であった。

男鹿みなと市民病院に設置された男鹿潟上南秋地区新型コロナウイルス感染症対策検査セン



南由利原のコスモス

ターなる恐ろしく長い名称の臨時検査所で8月24日、60代女性にPCR陽性と出た。この方は発熱等で近医を受診、投薬を受けたが症状不変のため湖東厚生病院を受診、コロナを疑われセンターへ紹介された。当医師会地区コロナ第1号である。

冬場の感染症対策について。 発熱等で受診した患者に対し従来のように診察室で気軽にインフルエンザ検査をすることは難しくなってきた。新型コロナウイルスだった場合、検査の安全性に問題があるからで、感染症学会ではPCR検査を増やすよう勧告しているが、防護服が不足なのに誰がやるのか。検査が陽性で防護が不完全だと濃厚接触として2週間閉鎖となる。

また検査センターを増やしてPCR希望者が増えても、「今日は陰性だが、明日は陽性にな

るかも…」となりかねない。PCR検査をする医院、しない医院と分かれると、する医院に患者が殺到しかねず、なるべく統一すべきという意見が出た。湯雄医師会では検査センターをPCR専用とそれ以外のプレハブ2棟で対応しているという。今冬はインフルエンザが強く疑われたら検査せず、病状等を把握した上で投薬し、それで解熱しない場合はセンターへ紹介する。発熱患者には「診察時刻」と「診察時間」の指定などの対応が必要だろう。

小児については様々な細菌・ウイルス感染による発熱疾患が多く、検査しないと治療が難しい例が多い。だが最近の子どもは風邪をひかなくなつた。手洗い・うがいなど予防が徹底され、病院に来る必要のない子が来なくなつた。インフルエンザ流行期に学校から求められるインフルエンザ陽性か陰性かの診断書発行について、潟上市教育委員会で「陰性の診断書は不要」

とする方針のようだ。県医よりハートフルネット推進委員に児玉光会員が指名された。同ネットに加入している会員は長谷川医院とみなと病院。下間院長は、協力的に参加したが壁が厚い面もあり、普及しにくいかもと印象を述べた。秋田厚生医療センターは態度を保留している。運営等に疑問があれば遠慮なく意見を述べてきてほしいと会長から激励。

7月31日で87歳となられた笹尾知先生が7月9日、警察庁長官より『警察協力賞』を受賞した。秋田県警察医嘱託として平成4年から27年間、五城目署管内で変死体の検案を通し捜査に協力してきた。「独居者が多く、亡くなつてから発見される例が増えている。介護職などの訪問を頻繁にして防いで頂きたい。今後も動けるうちは警察医を務めて参る所存」と先生。生涯教育講座はコロナのため12月まで中止。毎年11月末の当医師会忘年会も今年は中止。



ワンポイント アドバイス 28

おらほの先生から一言

季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行について

質問

政府もマスクも今シーズンの「季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行」が懸念されるといっています。なぜ心配なのでしょうが。

ご指南役

男鹿みなと市民病院 (男鹿市)

松野 健一 先生



今年春頃より新型コロナウイルスの流行が見られ、日本では既に9月現在で7万件程度の陽性者が見られ、1400人程度の方々も亡くなっており、さらなる流行も予想されます。加えて、例年ですと11月頃より翌年の3月頃までは季節性インフルエンザが流行しますので、より深刻な状況が懸念されます。

このため、これからは発熱等の患者さんが急増して来ることが予想され、それがインフルエンザなのか新型コロナウイルスなのかの区別は、極めて重要なこととなります。インフルエンザは基礎疾患を持つ場合を別にすれば、通常の場合その死亡率は、0.001%程度ですので死亡例は極めて少ないです。しかし、新型コロナウイルスの場合、8割程度は無症状か軽症ですが、入院する人は10%程度にまで及び、さらにその1/5程度は亡くなることになり、このように新型コロナウイルスとインフルエンザではその

予後は大きく異なってくるからです。

新型コロナウイルスにおける味覚障害や嗅覚障害などの特異な症状を除きますと、両者を区別することは不可能とされています。

多いのはやはり発熱です。両方の検査を同時に実施すべきであるとの提言もあるようですが、物資には限りがあります。インフルエンザキットは毎年3千万

件分程度の供給が可能ですので問題はありませんが、新型コロナウイルスの場合には1日あたりおおよそPCR検査が7・3万件、抗原定量が1・4万件、抗原簡易キットが2・6万件を計画しているようです。インフルエンザの発生は多い年で1日平均約30万件になり、厚労省では10万件がインフル陽性に、20万件が陰性になると推計しているようです。この陰性の件数についてコロナ検査をする場合には、半分程度しかできないことになり、できない件数はコロナを

疑って宿泊療養施設等への隔離になるのででしょうか。政府は抗原簡易キットを1日20万件程度供給可能な体制を目指すとしていますが、やはり心配は残ります。

さらにインフルエンザ陽性と診断された場合でも、新型コロナウイルスでは数%にインフルエンザなどの混合感染があると言われていいますので、同時にコロナが陽性ということがあり得ます。その場合には、知らずに家族や職場等で感染させる可能性があります。また新型コロナウイルスの入院患者の4%〜50%程度にインフルエンザが合併しているという報告もありますので、無症状者や軽症例でもインフルエンザによって重症化する可能性は否定出来ません。これも心配な材料です。

政府は発熱患者などが急増することを考えて、検査・医療体制を帰国者・接触者センターから地域の「診療・検査医療機関」

へ移す計画のようです。大きな混乱は避けられそうですが、それでも心配は残ります。

以上心配は尽きませんが、イ

ンフルエンザの予防接種だけはお互いに済ませておきたいものです。

なしになれば、血行不良のため冷えにむくみもかさなり重だるくなってしまう。もちろん時々軽い運動をして血の巡りを良くすることも必要ですが、レッグ・ウォーマーを一枚履くこととでかなり違いますよ。

す。わざわざ買わなくても古いセーターの袖を切っても代用できます。

冷え性なので冬が大の苦手という人も多いでしょう。そんなあなたに超お勧めなのがレッグ・ウォーマーです。「なんですかそれ?」と思った方へ。昔でいうところの脚絆「はばき」ですね。今のレッグ・ウォーマーは、旅に出るときの装束ではなく暖房衣です。つまり足首から上のすねを温めるために靴下やタイツの上に重ね履きする筒状のものです。これがなかなかの優れモノなのです。

私は冷房が直接当たるところで仕事していたときは夏も履いていました。冬は日中も寝るときも履いています。足のゆびは手の指同様表面積が広く体温調節に役割を果たすので、寒いからと靴下をはいて寝ると実は蒸れて睡眠の妨げになることがあります。その点、レッグ・ウォーマーをかかともで伸ばして履いたり、つま先のない靴下をはいて寝ると快適です。かかとのガサガサにクリームを塗ってほくとなお結構。

寒い時には「首」と名のつくところを温めるとよいといえますよ。すなわち首、手首、足首です。冬にはやはりハイネックやとっくりセーター(古いか)を着て、またはスカーフを巻き、手首の詰まった長袖を着て、足首も靴下で覆いましょう。時にたくさん着こんでいるのに首元が大きく開いている方も見かけます。メリヤスのシャツを何

私のおすすめ

冬の冷え予防に

男鹿みなと市民病院 (男鹿市)

松本 敏江



この会報が発行されるのは冬に入る前でしようか。すでにテレビではスタッドレスタイヤや暖房機のCMが流れ始め、また長い冬が来るなあといささか気持ち暗くなっています。

足は心臓から遠くに位置しているので冷え易いのに加え、ふくらはぎから足首までの間にはこれといった厚い筋肉がないため、熱を作り出しにくいそうです。さらにデスクワークで座りっぱなしあるいは仕事で立ちっぱなしになれば、血行不良のため冷えにむくみもかさなり重だるくなってしまう。もちろん時々軽い運動をして血の巡りを良くすることも必要ですが、レッグ・ウォーマーを一枚履くこととでかなり違いますよ。

私は冷房が直接当たるところで仕事していたときは夏も履いていました。冬は日中も寝るときも履いています。足のゆびは手の指同様表面積が広く体温調節に役割を果たすので、寒いからと靴下をはいて寝ると実は蒸れて睡眠の妨げになることがあります。その点、レッグ・ウォーマーをかかともで伸ばして履いたり、つま先のない靴下をはいて寝ると快適です。かかとのガサガサにクリームを塗ってほくとなお結構。

レッグ・ウォーマーは買うなら靴下売り場にあるかと思いますが、ホームセンターでも見つけました。毛、木綿、化繊、絹と様々な素材のものがあ

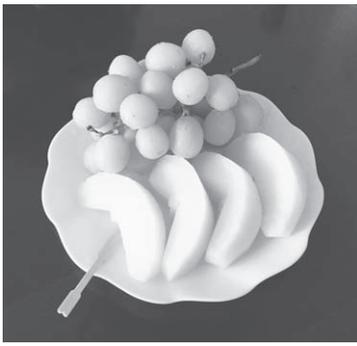


レッグウォーマー 長・短とつま先のない靴下とフットカバー

挑戦2年目とは思えない立派な味だ。まだ開発途上で、葡萄の皮厚の改良や収益性など研究は続く。と担当者は語っているが、大いに期待できる。大曲のタカヤナギが全量を買取り販売していくという。蛇足ながら、潟上には後継者難に悩みながら励む伝統的な果樹園がまだ多く、天王の梨もやっぱり旨い。

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花、主梨としてシャインな忘れそ

まもなく木枯らし吹く季節。来春から始まる3年目の挑戦と秋の収穫が待ち遠しい。〔編〕



社員マスカットと秋泉



長谷川医院 (男鹿市)

長谷川幸弘

遠絡統合療法

「具合はどうですか？」

「奥の側の痛みは良くなりましたが、額の表面の皮膚のピリピリした痛みはまだあります」「そうですか、では今日も治療しましょう」

1年前に顔面の帯状疱疹にかかり、右の額の耐え難い痛みが残っている帯状疱疹後神経痛の患者さんとの会話です。

皆様は「遠絡統合療法」って聞いたことがないでしょう。これは、疼痛があったら、原因は何であれ、痛みは治してあげま

す、という治療法です。

今回、鎌田玄徳先生からこの欄への原稿を依頼されたときに、何を書こうかと悩みましたが、そうか、今一番力を入れてやっていることを書こうと決めて、この遠絡治療を選びました。

遠絡とは台湾出身で鹿児島大学卒業、麻酔科の柯尚志先生が創始した「あらゆる痛みをとる治療法」です。病態の診立て・診断は西洋医学的、治療方法は東洋医学的で、ラインとレベルで示される治療点(鍼灸マッサージ的ツボに近い所)を押したり引いたりします。

人間の体には、血液、体液、リンパ液、神経の流れなど多くの「生体の流れ」があり、これらが滞りなく移動、循環して生命は維持されています。遠絡ではこの生体の流れをライフフローと言います。痛み、シビレ、その他あらゆる病気はライフフローが滞るために引き起こされると考えます。従ってこの滞っ

たライフフローを再び潤沢に流れるように取り戻してあげると痛み、シビレは良くなります。

ライフフローの流れる道をラインと言いい、体の前面に12本、背面に12本、中心に2本、合計26本あり、それぞれのラインを治療します。この記事を書きながら、はて、どれくらい効き目があったのだろうか、ちょうどよい機会だ、一度まとめてみようと思いい、カルテを遡ってみました。

期間は2015年9月から今年7月までの5年間。治療した患者さんは実人数で168人です。病名や症状は、肩、上肢、腰、下肢、指の痛みやシビレ、帯状疱疹後神経痛、自律神経失調症と全身の不調、花粉症などです。

肩・腕・手指の痛みとシビレ31名に、効果あり14名(有効45%)、腰・大腿下腿・足指の痛みとシビレ74名に対し、効果あり42名(有効57%)、完治6



遠絡ライフフロー抜群のチコ嬢は
いたずら盛り

名、効果なし12名、不明20名（ほとんどが1回のみの治療で、結果がカルテに記載されていないかった人）。

膝痛20名に、効果あり9名、効果なし2名、不明9名。

自律神経失調症または全体不調14名に改善6名、効果なしか不明7名、悪化1名。

帯状疱疹後神経痛9名（完治

2名、完治はしなかったが神経痛が軽減5名、効果なし1名、治療開始したばかり1名）。9名中7名（77%）が改善しました。

以上が現代医学でいろいろな治療を受けても良くならなかった痛み、シビレが続いている人に遠絡療法を行った結果です。

こんなものかなと思う反面、もつと治療効果を上げなければならぬと気持ちを持たせて進んでいきたいと思えました。遠絡療法に興味を持った方は <https://en-rac.net/> を覗いてみてください。面白いですよ。

次回は男鹿加藤診療所の越川智康先生にお願いします。

ナイト キヤッツ。フ。

3つのお願い

たむら船越クリニック（男鹿市）

田村 広美

僕には空想癖がある。いろいろ空想するのが好きな子だった。

大人になっても…今このバスがタイムスリップして江戸時代に着いたら…：やっぱり南方仁（JIN-仁）のように医者として暮らすか、ケン（信長のシエフ）のような料理は無理だ。江戸時代なら僕の英語でも通詞としていけるか？ まず服装をどうする？ この飛行機が不時着して無人島に流れ着いたら…チャック（キャストアウェイ）は靴で困っていた。今日は大丈夫、スニーカーだ。まずい！ ナイフもファイアスターターも

持っていない（そもそも機内に持ち込めない）。火はどうする？

コロナ騒動のせいなのか、院長のキャラクターのせいなのか、あるいは遂にヤブ医者、タケノコ医者（藪にもなれない）とばれたのか、患者さんとはとても少なくクリニックは暇だ。診察室でぼーっと考える。『ランブの精』が出てきたら。まー、ランプなんてどこにもないけど、『ボールペンの精』とか『聴診器の精』とか、『マスクの精』がいつ出てきて「3つのお願い

は？」と聞くかも知れない。そんな時慌てないように、僕は何度も考えてきた。

20か国語がペラペラに。ブルース・リーののように動けたら。あらゆる楽器をプロ級に演奏。斑鳩悟（D-LIVE）のようにどんな乗り物も超人的に操縦する。ボルグ+マツケンロー+コナーズのようにテニス。沢田研二+南佳孝+桜井賢のように歌えるようになりたい。他にも沢山あるのだが、ある日銀行に100兆

編集後記



一昨年は第100回甲子園野球大会で金農が準優勝、今年も菅義偉氏が第99代内閣総理大臣として日本のトップに躍り出た。秋田県民が浮き立つ中「おだいじに」

98号発行である。歯科薬科の先生方を含め多数の玉稿を賜り衷心より感謝▼朝ドラからふるさとに思いを馳せ、会津に住む母上を毎月訪ねる関先生の一文は、コロナ疲れの私たちをほっとさせる▼コロナ禍での自粛、ネット、子どもを語る猪俣先生は当医師会期

待の若手である。今後もどんどん投稿して頂きたい▼今号のテーマ『コロナ疲れの合間に』へ真正面から取り組んでくれた三浦先生の考察「吾」は、いい頭の体操になった▼八郎湯の盆の夜空に火花を仕掛けた佐藤先生は風変わりな薬剤師である。編子も貧者の一

灯を捧げた花火の直前、一日市盆踊りが中止にも拘らずサンバやカポエラなどで前夜祭を賑々しく主催した歯科の児玉亮先生も変人だ。彼らが口にしていたのは「コロナのせいにした行事の中止が多すぎる」であった▼笹尾先生は36年前、アジアで初めて開催された

円くらい入金というのはどうだ（結局金かい！）。これは、僕の得意な「ある日アラブの大富豪（もちろん、そんな知り合いはいない）が僕に莫大な財産をくれたら」という空想（妄想？）にも通じる。

まずクリニックを4階建てにして巨大津波も平気。スタッフの給料を倍に、保育所も作って、なんならスタッフ用のマンションも作る。高級ブランドメーカーをいくつか買収して、新作は必ず男鹿で発表。ジャニーズスタレントのライブを毎月男鹿で。世界中

から男鹿に人がやって来る。男鹿の地ビールを醸造しバブを作る。僕自身は、気の向いた週末だけのモルトバーを開く。カウンター数席、仲間と飲むためのバー。仕入れは：ブローラ35年、クライヌリツシユのバイカラー、70年代のポートエレン、タリスカアのオールドポトル、余市のシングルカスク：うーん、まだまだいろいろいる。どれも1本数十万はする。

「受付終了です」
看護師のやけに明るい声で我に返る。スタッフの声が、この終わりの時に一番元気な気がす

るのは暇な院長のひがみか？ 結局、最後の1時間、患者は来なかった。スタッフがアルコールでイスを手際よく拭いている。今日も3つのお願いは決まらなかった。「そもそもこんな願いでいいのか。おなかを引っ込める。膝の軟骨が元に戻るように。動脈硬化や脂肪肝がよくなるように。忘れ物を少なく。締め切りが守れるように。もっとお願いすべきことはあるんじゃないのか？」誰だ？ その声は？
ランプの精よ。僕のところはもう少し後でいいよ。とりあえず、先に他のだれかの願いをか

なえていてくれ。僕はもうちょっと考える。何を本当にお願いたらいいのか…。

〈酔〉



10月末の田沢湖・駒ヶ岳



大藤(東京)の「スガちゃんまんじゅう」

東京五輪にまつわる複雑な思いを語り、来年の開催を心配する▼コロナについて治療薬など様々な思いを綴って下さった薬剤師の山田のりか先生。母娘でネットと格闘するシーンに編子も大共感▼いつも優雅な立居振舞の俊子先生もそろそろ還暦とは驚き。私たちはコロナ到来に困惑しているが、これから生まれてくる子供たちにはそれが当たり前：ストンと落ちた▼中鉢先生は、荷風の日記における戦時状況を現在のコロナ禍に鏡く重ね合わせた。浅利先生の中国旅行は何度か伺っている。権力闘争が常の独裁政権に屈しそうなのは香港人だけではない。肥田野先生が戯画化する私たち日本人も似たものだろう▼石井先生の歯



前夜祭のバテリア(ステージ)とカポエラ(手前)

科における感染対策のお話は前号の橋本先生の報告を裏付ける。歯科の現場は先を行っているといえそうだ▼範明会長はコロナへの心構えを改めて説く。理事会便りと松野先生のアドバイスからも、読者の皆様には医師会が取り組んでいるコロナ対応の機微を察して頂きたい▼なぜ寒い季節にレッグウォーマーが快適で有用なのか、松本先生が詳しく説いてくれた。「流れ」を改善させる長谷川先生の遠絡療法にも通じる。次

回の越川智康先生へ流れよくバトンを▼今年も残り2カ月ちょい。「おだいじに」は来年4月に100号。よくここまでできた。99

号は鬼と一緒に笑いながら迎える正月に発行予定。ご協力を宜しく。
(編集長 佐々木康雄)

表紙説明

湯口内の観音様

佐々木かなえさん

(千葉克介写真教室)

北秋田市阿仁にある祖父母の家に向かう途中、湯口内集落の道路から目を引く大きなイチヨウの木を

見つけて、思わず車を止めて撮りました。

手前に赤い屋根の小屋のように見えるのは祠で、地元の人たちは「湯口内の観音様」と呼ん



角館平福美術館のイチヨウ

がった11月の晴れの日、色鮮やかなイチヨウに出会えてラッキーな一日でした。

でいるそうです。イチヨウの巨木はそのご神木らしく、しめ縄が張られていました。近くには秋田内陸線が通っていて、車窓からも見えるそうです。
珍しく雲一つない青空が広が

お便りは 〒018-1401

医師会メールアドレス info@oknmed.jp

潟上市昭和久保字町後173-42
ハートインクリニック 佐々木 康雄